

科目名	世界史A	単位数	2	学年	2	コース	理系	必修別	必修
教科書	新版 世界史A 新訂版 (実教出版)			副教材等	グローバルワイド最新世界史図表 (第一学習社)				

1 学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	世界史へのいざない		・地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気づく。	行動観察
5	第Ⅰ部 ユーラシアの諸文明 第1章 ユーラシアの諸文明と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の誕生と文明の発生 ・東アジア ・南アジア ・東南アジア ・西アジアと地中海 ・キリスト教の成立と発展 ・イスラームの成立と発展 ・ヨーロッパ世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の登場と、各地域世界が形づくられる過程を理解する。 ・各地域の風土、民族、文明の特質や、その成立過程、制度、文化を理解する。 ・文化圏間の経済・文化的な交流関係を理解する。 	ワークシート分析 行動観察 小テスト ワークシート分析
		中間考査	教科書p 6～63	レポート分析
6	第Ⅱ部 一体化する世界と日本 第2章 一体化に向かう世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス、大航海時代、絶対王政の時代 ・ヨーロッパ諸国の展開 ・近代ヨーロッパと世界貿易 ・イスラーム諸王国の成熟 ・明から清へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓などにふれ、16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。 ・アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。 	行動観察 小テスト レポート分析
7		期末考査	教科書p 64～91	行動観察 レポート分析 ノート分析 ワークシート分析
9	3章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオンとウィーン体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。 	行動観察 小テスト レポート分析
10		中間考査	教科書p 92～125	行動観察 ワークシート分析
11	第Ⅲ部 地球社会と日本 第4章 現代世界のあゆみ	<ul style="list-style-type: none"> ・変貌する社会 ・帝国主義と世界分割 ・ヨーロッパ国際関係の緊張 ・第一次世界大戦とロシア革命 	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。 ・オスマン帝国やムガル帝国の弱体化を通して、世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、アジア諸国の動揺のようすを理解する。 ・西洋諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中で日本の対応など、東アジアの大変動を理解する。 	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析 ノート分析

12		<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制と国際連盟 ・戦間期の欧米と日本 ・アジアの民族運動 <p style="text-align: right;">期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争と革命による国際秩序の変化, アメリカの大衆生活とその波及を通して, 20世紀初頭の変化の様相を理解する。 <p>教科書 p 126～147</p>	<p>ワークシート分析 ワークシート分析</p>
1		<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とニューディール ・ヒトラーとムッソリーニ ・満州事変から日中戦争へ ・ヨーロッパでの戦争 ・アジア・太平洋戦争 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格, 影響を理解し, 平和の意義などについて考察する。20世紀前半の国際政治の流れを概観し, 国際関係の変遷と社会の特質を理解する。 ・インド・中東および東アジアの民族運動を通して, "民族自決"を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。 	<p>行動観察 小テスト</p> <p>行動観察 ワークシート分析 レポート分析</p>
2	第5章 第二次世界大戦後の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合と冷戦 ・アジア諸国の独立 ・多極化する世界 ・冷戦の終結と社会主義の変容 ・冷戦後の世界 ・21世紀の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立, アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し, 戦後世界の問題などについて考察する。 ・冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解し, これからの国際社会における日本の役割について考察する。 ・"共に生きる世界"について考察し, 環境・経済・社会のバランスが保たれた"持続可能な社会"の実現について考える。 <p>教科書 p 148～184</p>	<p>行動観察 ワークシート分析</p> <p>ワークシート分析 ノート分析</p> <p>ワークシート分析</p>
3		<p style="text-align: right;">期末考査</p>		<p>ワークシート分析</p>

3 評価の観点

関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め, 意欲的に追究するとともに, 国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し, 国際社会の変化を踏まえ公正に判断して, その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し, 有用な情報を選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりしている。
知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し, その知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>世界各地の出来事, 問題を扱う科目です。広く世界の過去や現在に興味を抱いて取り組んで欲しい。単に言葉だけで理解しようとするのでは無く, 地図や写真, 図表を積極的に見て, 視覚的なイメージを通して, 少しでも実感を深めていけるように努力して欲しい。また, ニュースは, 現代の社会が過去の歴史と深い関わりを持って成り立っていることを実感できる重要な情報であり, 毎日見るように心がけて欲しい。その際, 世界地図を手元に置いておき, 常に実際の場所を確認するようにすると, 地図も国際的な課題も認識が定着していくので, ぜひ実行してみてください。</p>
